

保護者様

令和5年3月15日
京都市立洛央小学校
校長 竹村 知子

令和4年度学校評価（後半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和4年度学校評価（後半）の集計結果をお知らせします。先日は保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「一人ひとりを大切に、学びの広がり、深まりとつながりのある学校～他者と協働し、学び合う子の育成～」を教育目標とし、教育活動を進めています。新型コロナウイルス感染症対策をしながらの教育活動を実施してきましたが、今回の集計結果を真摯に受け止め、来年度以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えています。

① 友達や先生の話を聞くことができていますか。（保護者）

友達や先生の話を聞くことができていますか。（児童）

友達や先生の話を聞くことができるよう支援・指導できましたか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42%	51%	6%	1%
児童（高学年）	57%	40%	3%	0%
児童（低学年）	60%	29%	7%	4%
教職員	48%	52%	0%	0%

「人の話を聞く」ことについて、ほぼ9割の回答者が、「そう思う」「大体そう思う」と答えていました。前半に引き続き「聞くこと」を大切にできているというよい結果が出ていて、とてもうれしく思います。

洛央小学校では、様々な教科等の学習において、「お互いの考え方や気持ちを伝え合う活動」に重点を置いて取組を進めてきました。来年度以降は、感染症対策を意識しながらも、徐々に他者と関わる機会を増やしていくたいと考えています。そんな活動の中では、これまで以上に「相手の思いをしっかりと聞き、理解を深めようとする意識」をさらに伸ばしていきたいところです。そのためにも、周りを取り巻く大人たちが子どもの話をしっかりと聞くことを大切にしていきたいものです。引き続き、安心して話せる環境づくりを心がけながら、子どもたちが多様な人々とコミュニケーションを取り、互いの考え方や思いを聞くことで、より視野を広げたり、学びを深めたりしていけるように取り組んでいきます。

②自分の考え方や思いを話すことができていますか。（保護者）

自分の考え方や思いを話すことができていますか。（児童）

自分の考え方や思いを話すことができるよう支援・指導できましたか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	21%	56%	18%	5%
児童（高学年）	43%	40%	14%	3%
児童（低学年）	43%	33%	15%	9%
教職員	47%	51%	2%	0%

「自分の考え方や思いを話すことができる」については、75～80%程度の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。

しかし、子どもたちにとっては「自分の考え方や思いを話すこと」に対して苦手意識や不安感等を抱いている児童もいます。いろんな機会を通して、様々な人に話すことは、コミュニケーションを深める上で、とても大切です。思いや考えをよりよく伝えるために、来年度以降、全校の場で話したり、伝えたりする機会を増やしていき、「話すこと」の力をつけていきたいと思っています。

③学習や活動にねばり強く取り組むことができていますか。(保護者)

学習や活動にねばり強く取り組むことができていますか。(児童)

学習や活動にねばり強く取り組むことができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	25%	59%	13%	3%
児童（高学年）	45%	45%	8%	2%
児童（低学年）	60%	30%	6%	4%
教職員	48%	52%	0%	0%

「ねばり強く取り組むことができる」については8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。

取り組んでいることに対して、すぐにあきらめるのではなく、ねばり強さを発揮できることは、児童期だけでなく、生きていく上でもとても大切な姿勢であるといえます。子どもたちが苦手なことに挑戦したり、根気強く取り組み続けたりしているときに、その姿勢や頑張りを認め、ほめる言葉をかけていけることを学校・家庭が連携して意識していきたいです。

④友達や周りにいる人たちと協力することができていますか。(保護者)

友達や周りにいる人たちと協力することができていますか。(児童)

友達や周りにいる人たちと協力することができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	39%	54%	6%	1%
児童（高学年）	67%	29%	3%	1%
児童（低学年）	60%	29%	8%	3%
教職員	57%	43%	0%	0%

「友達と協力すること」については、ほぼ9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答結果でした。前半に引き続き、高い結果が見られ、うれしく思っています。一方で、低学年の児童については、「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が前半より増える結果となりました。

今年度は徐々にグループ活動や異年齢との交流を増やしてきました。それは他者とのかかわりを身に付けていく大事な機会となりました。その反面、自分の考えとそぐわない意見とぶつかることもあります。その結果が低学年では表れたのかもしれません。対立する意見をお互いに真摯に受け止めあい、よりよい方向を模索していくことが、社会集団を築いていく上で大切です。いろんな意見を受け止めた先にある、人との協力の姿勢を来年度も子どもたちに付けていきたいと思っています。

⑤進んで運動をしていますか。(保護者)

進んで運動をしていますか。(児童)

進んで運動をできるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	36%	37%	22%	5%
児童（高学年）	46%	30%	16%	8%
児童（低学年）	64%	21%	12%	3%
教職員	42%	44%	12%	2%

「進んで運動すること」については、「そう思う」と回答した割合が前半より低下しましたが、「大体そう思う」を含めると、前半の結果とほぼ同じ割合となっています。

健やかな体や豊かな心を育むためには運動も大切な要素の一つです。「進んで運動していない」とする要因や背景として、運動する場所がない、感染拡大防止のため制限された、運動が苦手等、多くの要因や背景が考えられます。そのため、本校では今年度から朝休みや放課後において校庭開放を取り入れました。休み時間に体を動かして遊ぶことを楽しみにしている子どもたちが多く見られました。また、後半には運動委員会を中心

として「なわとびチャレンジ」や「スポーツチャレンジ」の時間を設定し、異年齢で体を動かす機会を取り入れました。別の児童アンケートでは、「運動が好き」と考えている子も多く見られます。今後も体を動かす取組を大切にしていき、「運動が楽しい」という思いをもつ児童を増やしていきたいです。

⑥好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(保護者)

好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(児童)

好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	33%	42%	19%	6%
児童（高学年）	46%	40%	10%	4%
児童（低学年）	57%	31%	10%	2%
教職員	57%	33%	10%	0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約25%で前半と変わりませんでした。しかし、高学年児童・低学年児童については、前半より減少傾向にあり、苦手な献立でも一口でも食べようと心がけた子どもたちが増加した印象です。

食事は運動とともに、健やかな体や豊かな心を育みます。本校では2月に給食週間を設定し、給食の歴史を知ったり、給食室での献立作りの動画を見たりする取組を行いました。学習後の子どもたちの給食室への手紙からも給食への関心が高まった様子でした。今後も、家庭でも自身の体づくりとつなげて、好き嫌いなく食べていくことができるよう、支援・指導を進めていきたいと思います。ご家庭でのお声かけもよろしくお願ひします。

⑦毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(保護者)

毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(児童)

毎日必ず朝ごはんを食べるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	85%	11%	3%	1%
児童（高学年）	82%	10%	5%	3%
児童（低学年）	86%	9%	3%	2%
教職員	45%	32%	18%	5%

「朝ごはんを食べている」という設問については、前半と引き続き、保護者・児童ともに「そう思う」「大体そう思う」という回答が9割以上という結果でした。教職員の回答は前半よりも「そう思う」の回答が増えていますが、さらに、朝食の大切さを伝えていく機会を意識していきたいと思います。

保護者・児童の結果がとてもよい高いことをうれしく思うとともに、保護者の皆様の朝食に対する意識に感謝いたします。今回の結果のように、児童がきちんと朝食を食べているという習慣を今後も続けていけるように、教職員も指導の工夫をしていきます。保護者の皆様のご協力を引き続き、よろしくお願ひします。

⑧安全に気を付けて生活することができますか。(保護者)

安全に気を付けて生活することができますか。(児童)

安全に気を付けて生活することができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	47%	49%	3%	1%
児童（高学年）	70%	25%	4%	1%
児童（低学年）	71%	20%	8%	1%
教職員	63%	37%	0%	0%

「安全に気を付けて生活すること」については、前半同様9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。依然高い数値が継続できており、家庭でも声をかけていただいている様子がうかがえます。

一方で、子どもたちの校内での休み時間の様子や登下校での姿を見ていると、楽しいことに夢中になってしまふ結果、ヒヤリとさせられる場面もあります。廊下や歩道の歩き方、遊具の使い方、周りの人や物との安全な距離感など、意識を高めていきたい点は多々あります。今年度は避難訓練も複数回実施し、自分の身を守る取組を重ねてきました。また、教職員も今年度、安全に関する実地訓練を数回行い、「子どもたちの命・安全を守りきる」という使命の下、意識・技術向上に努めてきました。来年度も、今年度の取組を土台としながら、安全に対する意識を子どもも大人も高めていきたいと思います。

⑨自分のきめた目標にむけてがんばることができましたか。(保護者)

自分のきめた目標にむけてがんばることができましたか。(児童)

自分のきめた目標にむけてがんばることができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	29%	59%	10%	2%
児童（高学年）	52%	36%	10%	2%
児童（低学年）	59%	30%	7%	4%
教職員	50%	48%	2%	0%

「目標をもってがんばること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」の保護者・児童回答が約10%でした。おおむね子どもたちは1年間を通じて、目標をもってチャレンジしている様子がうかがえます。

京都市で運用している「生き方探究パスポート」を通して、子どもたちが「なりたい自分」を見つめ、イベントや節目ごとに振り返る機会を数回設定しています。その度ごとに家庭に持ち帰り、コメントをいただいています。この積み重ねを通して、自分の良さや得意なことを見つけ、自分の成長を見つめ、将来の目標を考えるきっかけにしたいと思っています。

今年度はスポーツフェスティバルやハートフル洛央などの大きな行事を設定し、「自分の力を伸ばす」「おうちの人成長した姿を見せる」といった目標を掲げて取り組んでいくことができました。また日々の授業や教科ごとの学習において、めあてを設定し、その達成に向けて取り組む指導を実施してきました。今後も「目標を設定する」→「目標の達成に向けて努力・練習を重ねる」→「結果をふりかえる」といった流れを積み重ねて、子どもたちのよりよい成長につなげたいと考えています。

⑩自分からすすんでいさつをすることができていますか。(保護者)

自分からすすんでいさつをすることができていますか。(児童)

自分からすすんでいさつをすることができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	28%	49%	20%	3%
児童（高学年）	57%	29%	11%	3%
児童（低学年）	59%	27%	11%	3%
教職員	57%	39%	4%	0%

「自分からあいさつをする」という設問に関しては、児童・保護者ともに約8割が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。児童については、前半と比べて割合が多くなり、意識を高めつつある様子がうかがえました。

洛央小学校の玄関で交わされる毎朝の「おはよう」「おはようございます」の声はとてもすがすがしく感じるとともに、安心感を与えてくれます。児童会を中心として、朝のあいさつ運動が展開され、全校であいさつを大事にしていく取組を継続できました。また、朝のあいさつだけでなく、「こんにちは」や「さようなら」のあいさつ、また、「ありがとう」「どういたしまして」など、何気なく発している言葉のやりとりなどは、人と人とのつながりを円滑にしたり深めたりする上でとても大切なものです。あいさつの大切さを伝え、実践ができるように、今後も子どもたちに支援・指導を続けていきます。